

校報 北斗冴ゆる

文責：一関市立舞川中学校 校長 今川 晋

2026年1月30日（金）

～逃げずばやまじ～

一関市立舞川中学校
学校だより No.10



【3学期がはじまり、もう3週間経ちました】

今月13日（火）に始まった3学期。間もなく節分です。暦の上では、冬と春の季節の分かれ目ということですが、先週から強烈な寒波が居座っており、路面状況もミラーバーンです。お子様の送迎には十分ご注意ください。

さて、3学期は言うまでもなく1年で一番短い学期です。よく、『1月は行く』『2月は逃げる』『3月は去る』と言い表しますが、この3か月は、それだけあっという間に過ぎ去っていくということでしょう。1日1日を大切に過ごしていく必要があると感じます。

題字横の写真は、3学期の決意を述べる三瓶愛翔さん、竹岡奏さん、佐藤瑠南さんと執行部佐藤恋羽さんです。

～令和8年度入学説明会～



【ちょっと照れながら手を振る先輩】



【生徒会長から歓迎のこぼし】



【誇り高く『校歌』を熱唱】



【真面目な授業風景を後輩に見せる】



【3年ぶりに3人そろいました】



【中学生らしくなった私たち】

去る1月28日（水）令和8年度の入学生と保護者を対象とした説明会を行いました。在校生の授業の様子を見学したのち、体育館で在校生による歓迎を受けました。在校生は『校歌』を誇り高く歌い小学生を迎えました。入学式まで約2か月です。新入生には元気に当日を迎えてほしいものです。

後半は、本校職員から学校生活と学習などについて大まかな説明をしました。

～「中学生らしさ」について考える～

新入生説明会の中学生の身なりについて「中学生らしい」というキーワードがありました。私たち昭和世代は「中学生らしくあれ」と耳タコで言われてきた記憶がありますし、そう言って指導もしてきました。昨今は多くの多様性を受入れながら生きていかなければなりません、私なりの『中学生らしさ』について考えてみました。以下に記します。『素』の自分と向き合うことは自分を高める一番の近道だと考えます。みなさんはどのように考えますか。

みなさん、『中学生らしさ』って何だと思えますか？私はそれを『素材の良さで勝負すること』だと考えています。

今の世の中、加工したり飾ったりして、自分を大きく見せる方法はいくらでもあります。しかし、中学生という時期は、自分の『素』と向き合い、自分だけの土台をつくる大切な期間です。これはとても勇気のいることです。それは自分の短所とも向き合わねばならないからです。

髪を染めたり飾ったりして自分の外見をより良く見せるのは簡単です。でも何もしない、飾らない今の自分を、まずはみなさん自身に認めて、大切にしてほしいのです。

『中学生らしさ』とは、飾りを捨てて、自分の『素』を磨くかっこよさのことです。学校は、あなたが『そのままの自分』でいられる場所、そして『そのままの自分』を強くしていく場所です。これからの長い人生で苦しい時にみなさんを支えるのは『素』の自分です。私たち教師が『中学生らしさ』を求めるときは、こんな思いがあることを忘れないでください。

～朝ランと朝レクのようす～



【軽い運動から1日がスタートします】



【朝レク表彰を受けた3年生】



【第1位は2年生でした】

舞川中学校の1日は朝ランから始まります。運動部活動への加入が任意となり、日本中の子どもたちの体力低下は著しいものとなりました。(特に女子が顕著です)それとともに子どもの生活習慣病も大きな課題になっています。自分の生活の中に運動習慣を取り入れ、1日を明るく元気に送るために生徒会が中心となって、BGMを選択しながら、全校が少しでも楽しく取り組めるようにと工夫しながら取り組んでいます。先日は、朝ランを盛り上げようと生徒会が朝レクを企画してくれました。学年対抗の長縄大会で盛り上がりました。